



若竹の塔

豊田市立竹村小学校 学校だより 11月号 令和3年 11月18日(木) 発行人：近藤僚吾

11月も中旬を過ぎて気温も低くなり、季節は秋から冬へと確実に進んでいるようです。9月に新型コロナウイルス感染拡大防止のために緊急事態宣言が発令され、当初は9月や10月に予定されていた学校行事や校外学習が11月に延期となり、学校は少し慌ただしい日々を送っています。このような中でも、子どもたちは授業に集中し元気に過ごしています。子どもたちが学習する教科によっては、制約を受ける活動もありますが、現状のできることを充実させ、学力の向上に努めていきたいと考えています。今月号では、授業参観と運動会の様子を紹介することにします。

① 10月21日(木)に授業参観を行いました。

10月21日(木)は授業参観でした。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、保護者の方々に校舎内で子どもたちの学習の様子を観ていただく機会はありませんでした。今回の授業参観は一昨年以来的のものとなり、楽しみにしていた保護者の方々も多かったことと思います。

当日は、子どもたちが学び合う姿を観ていただこうと、課題を工夫したり、タブレットを活用したりする授業を行いました。特に6年生は、学年で情報モラルの授業に取り組みました。新聞等で報道された事例も踏まえ、情報通信機器の正しい使用方法や相手を傷つけないための情報モラルについて学びました。高学年になると、家庭に帰ってスマートフォンを利用する児童も多く、情報モラルを定着させるためには、家庭の協力が欠かせません。子どもたちはもちろんのこと、参観された保護者の方々も集中して教師の問いかけに耳を傾けていました。社会で起きているできごとは、決して遠くのものではなく、身近でも起きる可能性があることも学びました。



【1年生：タブレットを使って】



【6年生：情報モラルについて】

② 低・中・高学年の持ち味を生かした運動会を行いました。

11月6日(土)は天候にも恵まれ、運動会を実施しました。今年度より半日での開催となり、低・中・高学年がそれぞれ表現活動と競技種目を行いました。10月より練習に取り組み、当日を迎えた子どもたち。保護者のみなさんに練習の成果を観てもらおうと、踊ったり、走ったりする姿は真剣そのものでした。表現活動には低・中・高学年の持ち味が発揮され、演技が終わると、観客のみなさんから温かい拍手が沸き起こりました。

また、前日の準備から当日の進行まで6年生の実行委員が活躍し、最高学年としての責任を果たしました。

今回は、前日のリハーサルに全校児童が参加し、当日は運動場に児童席を設けませんでした。子どもたちは自分たちの出番まで教室で待機し、他学年の様子は動画配信しました。そのため、保護者の皆さんが参観する場所を広く確保することができ、近くからお子さんの様子を参観していただきました。この点は、一昨年までの運動会と大きく異なります。

これから、今年度の運動会を振り返り、来年度に向けて準備を進めていきます。新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、よりよい運動会を目指していきたいと考えています。ご理解・ご協力をお願いします。



【低学年：手旗を使って】



【中学年：色手袋をはめて】



【高学年：おそろいの衣装で】